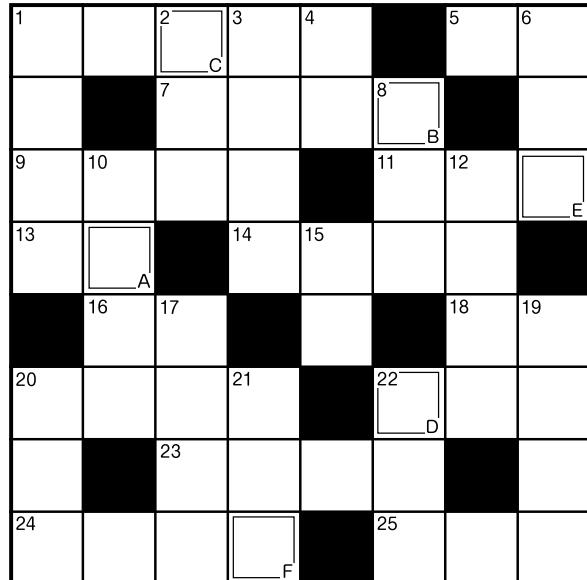


# さぴあ クロスワードパズル

エコのヒント

(2024年2月)

- 1 ロシアが侵略を続けている〇〇〇〇〇。欧米諸国が支援を続けています。
  - 5 全国で有料化が義務づけられている〇〇袋。目的はプラスチックの使用量の削減です。
  - 7 一度出した意見や提案を取り下げるのこと。
  - 9 中に熱いお湯を入れて、布団などを温める道具。最近は充電式の製品も増えています。
  - 11 役に立つところ。良いところ。「丈夫だけが〇〇〇」などと使います。
  - 13 昆虫が成長して、幼虫やさなぎから成虫になること。
  - 14 うれしくて心が落ち着かない様子を表すオノマトペ。「来週は修学旅行だと思うと、心が〇〇〇〇する」などと使います。
  - 16 世話になっていた人に歯向かう。さて、何を「引く」？
  - 18 最□、快□、□切、□当。□に共通して入る漢字の読みは？
  - 20 本州で最南端に位置する〇〇〇〇県。温暖な気候を利用して果物づくりが盛んです。
  - 22 〇〇〇危うきに近寄らず。「学識や人格が優れた人は、常に注意深く行動し、危険なことはしない」という意味です。
  - 23 〇〇〇〇を踏む。「地面や床を足で激しく踏み鳴らすようにして、ひどく悔しがる」という意味です。
  - 24 日本が大陸と地続きだったころ、朝鮮半島を通って日本に渡ってきた〇〇〇〇ゾウ。長野県北部の野尻湖の湖底遺跡から化石が発掘されています。
  - 25 順位づけすること、また、その順位を英語で言うと？「もっと上の〇〇〇を狙あう」などと使います。



〔答文〕

A	B	C	D	E	F

タ  
テ  
の  
ヒ  
ン  
ト

22	21	20	19	17	15	12	10
倭（日本）との関係が深かつた〇〇ですが、660年に唐・新羅の連合軍に滅ぼされました。	ウエーバーはドイツの作曲家。代表作に『〇〇〇の射手』があります。	「君がため春の野に出でて〇〇〇つむわが衣手に雪は降りつゝ（光孝天皇）」	〇〇〇〇満面。「喜びを顔いっぱいに表す」という意味です。	日本二景の一つである敵島。「安芸の〇〇〇〇」とこの別称があります。	3～4人で馬の形をつくり、その上に騎手役の1人が乗り、敵味方に分かれて競う〇〇戦。運動会・体育祭の人気種目です。	では、弥生時代に亡くなりました。ここじ、物を動かすときに力を加えるといひ。	穀物をネズミの害や湿氣から防ぐ構造になつた〇〇〇〇倉庫。日本

スペインやポルトガルなどの文化を背景とする中南米の国々のこと

を「○○○○アメリカ」といいます。

「○○○○○」とは相手を考慮しない自分勝手な様子。「それは君の○○○○○的な考え方だ」などと使います。

旧知の□、□を裂く、□直り。□に共通して入る漢字の読みみは、

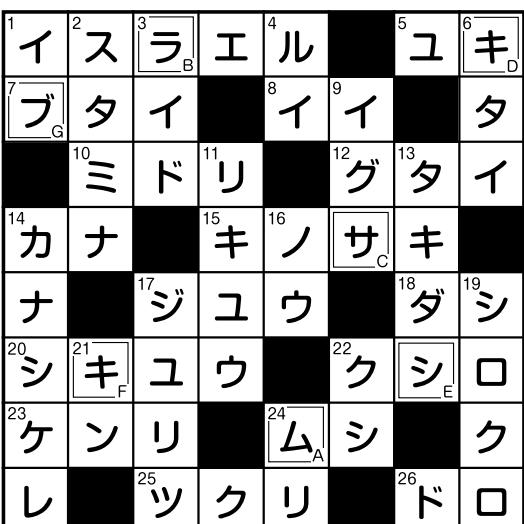
狩猟で捕られたイノシシやカモなどの野生鳥獣を使った料理を○○○料理としてます。

日本の内閣制度は、1885年にスタートしました。初代の内閣総理大臣は○○○○博文ぶわぶです。

## 前月号の解答と解説

【答文】

A	B	C	D	E	F	G
ム	ラ	サ	キ	シ	キ	ブ



★紫式部

紫式部は平安時代中期の作家・歌人。「日本最古の長編小説」といわれ、「日本文学史上最高傑作」と評価される『源氏物語』の作者として知られます。正確な生没年はわかりませんが、摂關政治の全盛期を築いた藤原道長に召され、道長の娘で、一条天皇に嫁いた彰子（あきこ／しようし）の家庭教師を務めるなど、貴族社会が栄えていた時期に、その最も華やかな場所で活躍した女性です。

代表作『源氏物語』は、当時、特に貴族の女性の間に広まっていた仮名文字を使って書かれた、全部で54帖（巻）、400字詰め原稿用紙にして約2400枚に及ぶ大長編です。天皇の子として生まれながら皇族の身分を離れた、美しく、学問や音楽の才能にも恵まれた主人公・光源氏と宮廷の女性たちとのやり取りを通して平安貴族の生活を描いており、20を超える言語に翻訳され、世界各国で読まれています。また、紫式部は歌人としても優れ、約120首もの自身の和歌を集めた「紫式部集」があるほか、「小倉百人一首」にも「ゆぐり逢ひて 見しやそれとも わかぬ間に 雲がくれにし夜半の月かな」という和歌が収められています。

なお、宮廷では「藤式部」と呼ばれていたといわれています。「藤」は姓の「藤原」に、「式部」は父親の役職名に由来します。そして、「源氏物語」が有名になり、その作中人物である「紫の上」にちなんで、後に「藤」が「紫」に変わったといわれています。もっとも、この「藤式部」も通称で、本名ではありません。NHKの大河ドラマでは「まひろ」という名前が用いられていますが、これは創作であり、本名ではありません。本名がわからなければ、「枕草子」を書いた清少納言、「蜻蛉日記」の作者・藤原道綱母なども同じです。これは、本名は「謫」といって「忌み名（不吉な）」に通じ、日本では親や非常に親しい間柄でないとその名前で呼ぶことができなかつたからです。公職につくわけでもない女性の場合、記録も残っていないのです。

三

卷二

- |               |                 |                |                    |
|---------------|-----------------|----------------|--------------------|
| 1 イスラエル       | 17 自由 (じゆう)     | 1 イブ           | 14 悲しきれ<br>(かなしけれ) |
| 5 雪 (ゆき)      | 18 だし           | 2 スタミナ         | 16 能 (のう)          |
| 7 舞台 (ぶたい)    | 20 四球、死球 (しきゅう) | 3 ライド          | 17 樹立 (じゅりつ)       |
| 8 唯々 (いい)     | 22 鋸路 (くしろ)     | 4 類 (るい)       | 19 白黒 (しろくろ)       |
| 10 みどり        | 23 権利 (けんり)     | 6 気体 (きたい)     | 21 金 (きん)          |
| 12 具体 (ぐたい)   | 24 虫 (むし)       | 9 イグサ          | 22 くし              |
| 14 仮名 (かな)    | 25 旁 (つくり)      | 11 利休 (りきゅう)   | 24 無理 (むり)         |
| 15 城の崎 (きのさき) | 26 泥 (どろ)       | 13 炊き出し (たきだし) |                    |